令和３年度　事務事業評価シート（１）
[令和2年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D　建設・整備事業
事務事業名	自転車通行環境整備事業				事業番号	019-091
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車環境整備	課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km		
3	事業開始年度	平成　20　年度	点検年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	道路法、道路交通法		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民（約83万人）及び市外からの利用者（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全に配慮した自転車の通行空間を確保すること。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	通行空間の連続性を確保した自転車ネットワークを形成し、回遊性や快適性を高める。また、広域的な自転車ネットワークの形成を推進し、自転車による周遊を促し、地域の活性化や賑わいづくりにつなげるため、自転車通行環境の整備を行う。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	請負業者
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

				実績		目標	目標　点検年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
	市民意識調査による満足度	%	目標値	50	50	50	50
			実績値	37	-		
			達成率	74%	-		
	当該指標を選定した理由	整備効果を客観的に評価するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	区別の最高値が堺区の約50%であるため、市内全域において同水準に向上させる。次回の市民意識調査はR3年度					

				実績		目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	自転車通行環境整備延長（累計）(R7年度までの整備目標は75km)	Km	目標値	58（8）	64（6）	66（4）
			実績値	58（8）	62（4）	
			達成率	100%	67%	
	当該指標を選定した理由	自転車通行環境整備の各年度における推移や進捗状況を把握するため。 ※カッコ（）内は単年度数値とする。				
	目標値の設定根拠・算出方法	予算化された額と予定路線の想定単価から算出している。				

令和3年度　事務事業評価シート（２）

事務事業名	自転車通行環境整備事業	事業番号	019-091

Ⅲ．投入量

事業コスト

（単位：千円）

		項　目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
			決算	決算	予算	決算	予算
13		事業費（a）	200,549	176,143	143,210	153,866	143,131
	財源内訳	国支出金	69,061	73,920	50,592	62,912	59,830
		府支出金					
		市債	109,300	92,200	81,300	80,100	75,400
		その他　（　　　　　　　　　）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	22,188	10,023	11,318	10,854	7,901
14		人件費　（ｂ）	52,700	53,900	61,000	61,000	61,000
15		年間経費(ｃ)=(a)+(ｂ)	253,249	230,043	204,210	214,866	204,131

事業費の内訳

（単位：千円）

		項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	整備工事費	R2	決算	128,476	7,929	その他保険料	R2	決算	1	1
			R3	予算	122,133	5,418		R3	予算	5	5
		委託業務費（実施設計ほか）	R2	決算	24,651	2,186	その他使用料及び賃借料	R2	決算	129	129
			R3	予算	19,483	968		R3	予算	305	305
		普通旅費	R2	決算	23	23	研修会等参加負担金	R2	決算	0	0
			R3	予算	291	291		R3	予算	2	2
		消耗品費	R2	決算	509	509		R2	決算		
			R3	予算	672	672		R3	予算		
		印刷製本費	R2	決算	77	77		R2	決算		
			R3	予算	240	240		R3	予算		

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	自転車通行環境整備延長	Km	8	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	230,043	214,866
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	28,755,375	71,622,000
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18 令和２年度の単位当たり経費の増加の理由は、工事対象路線の舗装劣化により、舗装復旧費を必要としたためである。目的にあった整備効果を高めるためには路線毎の実状に合わせた整備を行うことが大切である。また、自転車ネットワークを形成することにより、自転車利用者の満足度の向上に繋げる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI･取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 自転車利用者の安全に配慮した自転車通行空間の連続性を確保した自転車ネットワークを形成し、回遊性や快適性を高めることで、自転車利用環境の満足度向上につながると考えている。
令和2年度末で自転車通行環境整備延長（累計）62Km（整備率82.3%）となっており、前年度に引き続き整備距離を延長していることから自転車利用環境の満足度向上に一定寄与したと考えている。